

IP217004

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 7月26日

出願番号

Application Number:

特願2001-225960

出願人

Applicant(s):

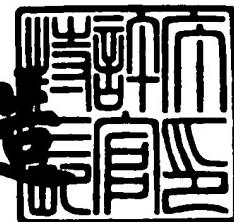
アライドテレシス株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 9月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3082329

【書類名】 特許願

【整理番号】 IP217004

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04B 3/36

H04B 3/46

H04B 17/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区西五反田7-22-17 アライドテレス
株式会社内

【氏名】 田中 和安

【特許出願人】

【識別番号】 396008347

【氏名又は名称】 アライドテレス株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097157

【弁理士】

【氏名又は名称】 桂木 雄二

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 024431

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 テストマネージャ付きメディアコンバータ、障害検出方法、およびそれを用いたシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 異なる種類の伝送媒体を接続する複数個のメディアコンバータを介したリンクの障害検出方法において、

a) 前記複数のメディアコンバータの各々に対して、当該メディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出するステップと、

b) 前記メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定するステップと、

c) 前記判定ステップの結果に基づいて障害発生箇所を特定するステップと、
を有することを特徴とする障害検出方法。

【請求項2】 前記ステップ(c)において、前記メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信しない場合、当該メディアコンバータ以遠に障害が発生していると判定することを特徴とする請求項1記載の障害検出方法。

【請求項3】 前記メディアコンバータの各々は、

第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、

第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、

前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、を有し、

前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、

前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、

当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送する、

ことを特徴する請求項1記載の障害検出方法。

【請求項4】 前記第1及び第2物理層インターフェース手段は、それぞれIEEE802.3規格によって規定されたMII(Media Independent Interface)をサポートすることを特徴とする請求項3記載の障害検出方法。

【請求項5】 前記メディアコンバータの各々は、

前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、前記第1および第2物理層インターフェース手段の各々にアクセスして各物理層インターフェース手段のリンク情報を取得し、

当該リンク情報に応じた前記応答データブロックを生成する、

ことを特徴とする請求項4記載の障害検出方法。

【請求項6】 前記メディアコンバータの各々は、

IEEE802.3規格によって規定されたMII(Media Independent Interface)をサポートし、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、

前記IEEE802.3規格によって規定されたMIIをサポートし、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、

前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、を有し、

前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、

前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、

一方の物理層インターフェース手段がリンク切断状態になった時に他方の物理層インターフェース手段もリンク切断状態にするミッシングリンク状態を解除し、

前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送する、

ことを特徴とする請求項1記載の障害検出方法。

【請求項7】 前記メディアコンバータの各々は、さらに、

ミッシングリンク状態において前記判定手段により前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致しないと判定された場

合、ミッシングリンク状態を解除し、当該受信データブロックを転送する、
ことを特徴とする請求項6記載の障害検出方法。

【請求項8】 前記受信データブロックおよび前記応答データブロックは、
所定フォーマットを有するイーサネットパケットであることを特徴とする請求項
1～7のいずれかに記載の障害検出方法。

【請求項9】 異なる種類の伝送媒体を接続する複数個のメディアコンバ
ータを介したリンクと、前記複数個のメディアコンバータの任意のメディアコンバ
ータに接続されたテストマネージャと、を有する障害検出システムにおいて、
前記メディアコンバータの各々は、

第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、
第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、
前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転
送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、

前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータ
と自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所
定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に
当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データ
ブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当
該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、

を有し、

前記テストマネージャは、
ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、
前記テストマネージャが接続されたメディアコンバータに近い方から順に各メ
ディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを前記リ
ンクへ送出し、各メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データ
ブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障
害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、

を有する、

ことを特徴とする障害検出システム。

【請求項10】 前記テストマネージャ制御手段は、あるメディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信しない場合、当該メディアコンバータ以遠に障害が発生していると判定することを特徴とする請求項9記載の障害検出システム。

【請求項11】 各メディアコンバータの前記第1及び第2物理層インターフェース手段は、それぞれIEEE802.3規格によって規定されたMII(Media Independent Interface)をサポートすることを特徴とする請求項9記載の障害検出システム。

【請求項12】 前記メディアコンバータの各々のメディアコンバータ制御手段は、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、各物理層インターフェース手段にアクセスしてリンク情報を取得し、当該リンク情報に応じた前記応答データブロックを生成する、ことを特徴とする請求項11記載の障害検出システム。

【請求項13】 前記テストマネージャ制御手段は、テスト起動時にミッシングリンク状態を解除し、物理層インターフェース手段を強制的に送信可能状態にすることで前記データブロックを前記リンクへ送出することを特徴とする請求項11記載の障害検出システム。

【請求項14】 前記メディアコンバータの各々のメディアコンバータ制御手段は、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、一方の物理層インターフェース手段がリンク切断状態になった時に他方の物理層インターフェース手段もリンク切断状態にするミッシングリンク状態を解除し、前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送する、ことを特徴とする請求項11または13記載の障害検出システム。

【請求項15】 前記メディアコンバータの各々のメディアコンバータ制御手段は、さらに、ミッシングリンク状態において前記判定手段により前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致しない

と判定された場合、ミッシングリンク状態を解除し、当該受信データブロックを転送することを特徴とする請求項14記載の障害検出システム。

【請求項16】 前記ホストコンピュータは、マネジメントスイッチであることを特徴とする請求項9～15のいずれかに記載の障害検出システム。

【請求項17】 異なる種類の伝送媒体からなるリンクの障害検出に使用されるテストマネージャ付きメディアコンバータにおいて、

第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、

第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、

前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、

前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、

ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、

前記メディアコンバータ制御手段に接続され、他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出し、当該メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、

を有することを特徴とするテストマネージャ付きメディアコンバータ。

【請求項18】 異なる種類の伝送媒体からなるリンクの障害検出に使用されるテストマネージャ付きメディアコンバータにおいて、

複数のメディアコンバータと、

前記複数のメディアコンバータの各々を管理するためのテストマネージャと、を有し、

前記複数のメディアコンバータの各々は、

第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、
第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、
前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転
送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、
前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータ
と自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所
定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に
当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データ
ブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当
該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、

を有し、

前記テストマネージャは、
ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、
前記メディアコンバータ制御手段に接続され、当該メディアコンバータにリンク
する他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロ
ックを送出し、当該他のメディアコンバータから前記データブロックに対する応
答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づ
いて障害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、

を有する、

ことを特徴とするテストマネージャ付きメディアコンバータ。

【請求項19】 異なる種類の伝送媒体からなるリンクの障害検出に使用さ
れるスイッチングシステムにおいて、

複数のメディアコンバータと、
前記複数のメディアコンバータと接続され交換動作を行うスイッチと、
を有し、
前記複数のメディアコンバータの各々は、
第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、
第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、
前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転

送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、

前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、

を有し、

前記スイッチは、少なくともスイッチ制御機能及びテストマネージャ機能を実現するプロセッサを有し、

前記テストマネージャ機能は、各メディアコンバータにリンクする他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出し、当該他のメディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定する、

ことを特徴とするスイッチングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はネットワークにおける障害検出技術に係り、特に、異なる種類の伝送媒体を接続するためのメディアコンバータを介したリンクの障害検出システム、障害検出方法、並びにそれに用いられるメディアコンバータに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、各家庭まで光ファイバ回線を延ばして、音楽や動画像、医療データなどを高速回線で自在にやり取りできるF T T H (Fiber To The Home) が話題を集めている。このようなF T T Hが実現されると、光ファイバ回線をオフィスあるいは家庭内のコンピュータに接続するためのメディアコンバータが不可欠となる。

【0003】

メディアコンバータには、一般に、光ケーブルを接続するためのポートとUTPケーブルを接続するためのポートのそれぞれに物理層デバイスが設けられており、各物理層デバイスはIEEE802.3規格によって規定されたMII (Media Independent Interface) をサポートしている。

【0004】

さらに、メディアコンバータの性質上、一方のリンクが切断された場合に他方のリンクを自動的に切断するミッシングリンク機能を有するものが一般的である。たとえば光ファイバケーブルに障害が発生して切断された場合、メディアコンバータは他方のUTPケーブル側のリンクも自動的に切断する。

【0005】

このようなメディアコンバータを用いてUTPケーブルを光ケーブルに接続した場合、ケーブルが相手側と正常に接続されているか否かをテストする必要がある。従来のメディアコンバータにはリンクテスト切替スイッチが設けられ、リンクテスト機能によりリンク確立の可否をポートごとにLEDの点灯などで確認することができる。

【0006】

他方、ネットワークのリンクテスト技術については種々提案されている。たとえば、特開平8-331126号公報に開示されたリンクテスト方法では、特殊な制御コードをリンク先のスイッチへ送信し、その制御コードを受信したスイッチは応答メッセージを返送する。送信元のスイッチは、応答メッセージの分析あるいは応答の有無を検出することで、ネットワークリンクが正常に機能しているか否かを判定することができる。

【0007】

しかしながら、この従来のリンクテスト技術はネットワークスイッチ（交換機）を前提としたものであり、伝送媒体の変換を主目的としミッシングリンク機能を有するメディアコンバータとは、構成及び機能の点で基本的に異なっている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように、メディアコンバータでは、リンクテスト切替スイッチを操作してテストモードに設定している。このために、ケーブル側（UTPケーブル側あるいは光ケーブル側）からリンクテストを起動することができず、リンクテストを迅速かつ簡単に実行することができないという問題があった。言い換れば、このようなメディアコンバータは、その性質上、ネットワーク側から制御するようには設計されていない。

【0009】

さらに、メディアコンバータのミッシングリンク機能が作動した場合、ホストコンピュータは、たとえメディアコンバータが正常であっても、そのメディアコンバータの状態を全くモニタすることができなくなる。このために、メディアコンバータを介したリンクに障害が発生した場合、ホスト側ではメディアコンバータまでのリンクに障害が発生したのか、メディアコンバータ自体が故障したのか、あるいはメディアコンバータ以遠のリンクに障害が発生したのか、を特定することができない。

【0010】

そこで、本発明の目的は、メディアコンバータを含むリンクの障害検出を容易にし、かつ障害位置を特定できる障害検出システム及び方法を提供することにある。

【0011】

本発明の他の目的は、メディアコンバータを含むリンクの障害検出を容易にし、かつ障害位置を特定できる障害検出システムに適したメディアコンバータを提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明による障害検出方法は、異なる種類の伝送媒体を接続する複数個のメディアコンバータを介したリンクの障害検出方法であって、a) 前記複数のメディアコンバータの各々に対して、当該メディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出するステップと、b) 前記メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信する

か否かを判定するステップと、c) 前記判定ステップの結果に基づいて障害発生箇所を特定するステップと、を有することを特徴とする。

【0013】

メディアコンバータから応答データブロックを所定時間内に受信しない場合には、当該メディアコンバータ以遠に障害が発生していると判定することができる。

【0014】

前記メディアコンバータの各々は、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、を有し、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送する、ことを特徴する。

【0015】

各メディアコンバータにおいて、自己の識別データを含むデータブロックを受信することで応答データブロックを返送することができるために、ケーブル側から応答テストを起動することが可能となる。したがって、応答データブロックを受信することでメディアコンバータまでのリンクだけでなく、当該メディアコンバータ自体も正常に動作していることを確認することができる。

【0016】

また、受信データブロックおよび応答データブロックは、所定フォーマットを有するイーサネットパケットであることが望ましい。さらに、前記受信データブロックの所定位置は、前記イーサネットパケットの送信元アドレスフィールドであることが望ましい。

【0017】

メディアコンバータの各々は、IEEE802.3規格によって規定されたMII (Media Independent Interface) をサポートし、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、前記IEEE802.3規格によって規定されたMIIをサポートし、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、を有し、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合、当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、一方の物理層インターフェース手段がリンク切断状態になった時に他方の物理層インターフェース手段もリンク切断状態にするミッシングリンク状態を解除し、前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送する、ことを特徴とする。

【0018】

したがって、ミッシングリンク状態であっても応答データブロックを返送することができ、応答データブロックの返送により、少なくとも当該メディアコンバータおよびそこまでのリンクが正常であると判断することができる。

【0019】

メディアコンバータの各々は、さらに、ミッシングリンク状態において前記判定手段により前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致しないと判定された場合、ミッシングリンク状態を解除し、当該受信データブロックを転送する、ことを特徴とする。これにより当該メディアコンバータを応答テストの対象としないデータブロックは通過するために、それより以遠のリンクテストが可能となる。

【0020】

さらに、本発明による障害検出システムは、異なる種類の伝送媒体を接続する複数個のメディアコンバータを介したリンクと、前記複数個のメディアコンバータの任意のメディアコンバータに接続されたテストマネージャと、を有する障害検出システムであって、前記メディアコンバータの各々は、第1伝送媒体を接続

するための第1物理層インターフェース手段と、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、を有し、前記テストマネージャは、ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、前記テストマネージャが接続されたメディアコンバータに近い方から順に各メディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを前記リンクへ送出し、各メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、を有することを特徴とする。

【0021】

また、本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータは、異なる種類の伝送媒体からなるリンクの障害検出に使用されるものであり、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、前記メディ

アコンバータ制御手段に接続され、他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出し、当該メディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、を有することを特徴とする。

【0022】

本発明の他の実施形態におけるテストマネージャ付きメディアコンバータは、複数のメディアコンバータと、前記複数のメディアコンバータの各々を管理するためのテストマネージャと、を有し、

前記複数のメディアコンバータの各々は、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、を有し、

前記テストマネージャは、ネットワーク管理部に接続するためのインターフェース手段と、前記メディアコンバータ制御手段に接続され、当該メディアコンバータにリンクする他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出し、当該他のメディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定するテストマネージャ制御手段と、を有することを特徴とする。

【0023】

更に、本発明によるスイッチングシステムは、複数のメディアコンバータと、前記複数のメディアコンバータと接続され交換動作を行うスイッチと、を有し

前記複数のメディアコンバータの各々は、第1伝送媒体を接続するための第1物理層インターフェース手段と、第2伝送媒体を接続するための第2物理層インターフェース手段と、前記第1及び第2物理層インターフェース手段の間に接続され、それらの間で転送されるデータを一時的に格納するためのメモリ手段と、前記メモリ手段に格納される受信データブロックの所定位置に存在するデータと自己の識別データとが一致するか否かを判定し、前記受信データブロックの所定位置に存在するデータが前記自己の識別データに一致すると判定された場合に当該受信データブロックに対する応答データブロックを生成し、当該受信データブロックを受信した物理層インターフェース手段から前記応答データブロックを当該受信データブロックの送信元へ返送するメディアコンバータ制御手段と、を有し、

前記スイッチは、少なくともスイッチ制御機能及びテストマネージャ機能を実現するプロセッサを有し、前記テストマネージャ機能は、各メディアコンバータにリンクする他のメディアコンバータの識別データを所定位置に書き込んだデータブロックを送出し、当該他のメディアコンバータから前記データブロックに対する応答データブロックを所定時間内に受信するか否かを判定し、その判定結果に基づいて障害発生箇所を特定する、ことを特徴とする。

【0024】

【発明の実施の形態】

図1は本発明による障害検出システムの一実施形態に使用されるメディアコンバータの一例を示すブロック図である。ここでは、説明を簡単にするために、メディアコンバータ10が100BASE-TX:UTPケーブルを通してホストコンピュータあるいはマネジメントスイッチ20に接続され、100BASE-FX:光ケーブルを通して他方のホストコンピュータあるいはマネジメントスイッチ30に接続されているシステムを例示する。

【0025】

メディアコンバータ10の一対のポートにはそれぞれ物理層デバイス(PHY)101および102が設けられ、一方の物理層デバイス101はUTPケーブルに、他方の物理層デバイス102は光ケーブルに、それぞれ接続されている。

上述したように、物理層デバイス101および102の各々は、IEEE802.3によって規定されたMII (Media Independent Interface) をサポートする。

【0026】

物理層デバイス101と物理層デバイス102との間には、FIFO (First in First out) メモリ103が設けられ、これによって送受信間の周波数偏差を吸収することができる。一方の物理層デバイスで受信されたデータはFIFOメモリ103に順次書き込まれ、書き込まれた順に読み出されて他方の物理層デバイスへ送出される。

【0027】

さらに、FIFOメモリ103には、所定の論理機能が書き込まれたPLD (Programmable Logic Device) 104が接続されている。PLD104は、後述するように、パケットを受信してから所定タイミングでFIFOメモリ103の内容をチェックし、それが所定データに一致した時に限りイネーブル信号 E_{LB} をマイクロプロセッサ105へ出力するように設計されている。

【0028】

マイクロプロセッサ105は、後述するように、PLD104からイネーブル信号 E_{LB} を受け取ると、所定の応答パケットを生成し、それを受信パケットの送信元へ返送するように当該物理層デバイスを制御する。

【0029】

さらに、マイクロプロセッサ105は、IEEE802.3規格の物理層MIIに従って、物理層デバイス101および102に設けられたfarEF(far End Fault)レジスタや強制リンク(Force Link)レジスタなどの各種内部レジスタにそれぞれアクセスすることができる。これによって、たとえば、物理層デバイスからリンク確立の可否あるいは半二重／全二重を示すリンク情報などを取得することができる。また、強制リンクレジスタにアクセスすることで、リンク切断状態の物理層デバイスを送信可能状態に強制的に設定することも可能である。

【0030】

マネジメントスイッチ20には、同じくIEEE802.3規格MIIをサポ

ートする物理層デバイス（PHY）201、MAC(Media Access Control)層デバイス202、およびマイクロプロセッサ（CPU）203が設けられている。その物理層デバイス201はUTPケーブルを通してメディアコンバータの物理層デバイス101に接続されている。マイクロプロセッサ203は、IEEE802.3規格MIIに従って、物理層デバイス201に設けられた各種内部レジスタにそれぞれアクセスすることができる。これによって、UTPケーブルによるリンク確立の可否を示すリンク情報を取得することができ、また強制リンクレジスタにアクセスして、リンク切断状態の物理層デバイス201を送信可能状態に強制的に設定することもできる。

【0031】

マネジメントスイッチ30もマネジメントスイッチ20と同様の構成を有し、その物理層デバイスは光ケーブルを通してメディアコンバータの物理層デバイス102に接続され、同様にIEEE802.3によって規定されたMIIをサポートする。

【0032】

通常のイーサネットパケットが送受信される場合、メディアコンバータは通常のメディア変換動作を行うだけである。すなわち、マネジメントスイッチ20から送出された通常のイーサネットパケットはメディアコンバータ10によって光データに変換され、光ケーブルを通して宛先のホストコンピュータあるいはマネジメントスイッチ30へ送信される。逆に、マネジメントスイッチ30から送出された通常の光データはメディアコンバータ10によって通常のイーサネットパケットに変換され、UTPケーブルを通してマネジメントスイッチ20により受信される。

【0033】

これに対して応答テストを起動する場合には、マネジメントスイッチ20は所定のトリガデータを含むイーサネットパケット（以下、トリガパケット P_{TRG} という。）を生成してメディアコンバータ10へ送出する。

【0034】

図2はトリガパケットの一例を示すフォーマット図である。トリガパケットも

、通常のイーサネットパケットと同様に、8バイトのプリアンブル、6バイトの宛先アドレスフィールド、6バイトの送信元アドレスフィールド、48～1502バイトのデータフィールド、および4バイトのFCSフィールドからなる。ただし、トリガパケットの場合には、送信元アドレスフィールドに予め定められたトリガデータを書き込んでおく。

【0035】

トリガデータとしては、できるだけユニークな識別データのようなものが望ましい。ここでは、メディアコンバータ10に内蔵された回路ボード番号を使用する。回路ボード番号はベンダーによって付与されたユニークな番号である。この回路ボード番号を送信元アドレスフィールドに格納したパケットをトリガパケットとしてメディアコンバータへ送信する。

【0036】

メディアコンバータでは、自己の回路ボード番号が送信元アドレスフィールドに書き込まれたパケットを受信すると、後述するように、応答テストモードに切り替わり応答パケットを生成して返送する。自己の回路ボード番号以外のデータであれば、通常のパケットとして通過させる。

【0037】

図3は、本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータの一実施形態を示すブロック図である。テストマネージャ付きメディアコンバータ300は、メディアコンバータ301と、メディアコンバータ301のマイクロプロセッサ105と独自バス303で接続されたテストマネージャ302とを含む。メディアコンバータ301は図1に示すメディアコンバータ10とほぼ同じ構成を有するので、各回路ブロックに同一参照番号を付して説明は省略する。

【0038】

テストマネージャ302は、バス303でメディアコンバータ301のマイクロプロセッサ105に接続されたマイクロプロセッサ304と、ネットワークインターフェースカード(NIC)305とを有し、ネットワークインターフェースカード305は、図示しないネットワーク管理ルールにUTPケーブルを通して接続されている。

【0039】

後述するように、テストマネージャ302は、リンク切断を監視したり、テストの起動指示、収集された情報の整理および判定などを行う。メディアコンバータ301は、上述したメディアコンバータ10と基本的には同じ動作をするが、独自バス303を通してテストマネージャ302のマイクロプロセッサ304との間で制御信号およびデータのやりとりを行う点が異なっている。

【0040】

以下、テストマネージャ付きメディアコンバータ300を用いたシステムのテスト動作について詳細に説明する。

【0041】

(テストシーケンス)

図4は、本発明による障害検出方法の一実施形態を説明するためのネットワークシステムの概略的構成を示すブロック図である。ここでは、説明を簡単にするために、テストマネージャ付きメディアコンバータ300がマネジメントスイッチ20とUTPケーブルUTP1を通して接続され、他方のメディアコンバータ40と光ファイバケーブルFOを通して接続され、さらに、そのメディアコンバータ40がUTPケーブルUTP2に接続されているものとする。

【0042】

また、ここでは、UTPケーブルUTP2で障害が発生したものと仮定する。この場合、メディアコンバータ40およびテストマネージャ付きメディアコンバータ300のメディアコンバータ301は、いずれもミッシングリンク機能が作動して、全てのリンクが切断状態となる。

【0043】

図5は本実施形態のテスト動作を示すシーケンス図である。テストマネージャ302は、メディアコンバータ301を通してリンク機能の監視を行っており、リンク切断が検出されると（ステップS501）、リンク切断をネットワーク管理ツールへ通知する（ステップS502）。リンク切断通知を受け取ると、ネットワーク管理ツールはテストマネージャ302へテスト開始を指示する（ステップS503）。

【0044】

テスト開始指示を受信すると、テストマネージャ302はテストモードを起動し（ステップS504）、メディアコンバータ301をテストモードに移行させる（ステップS505）。これによってメディアコンバータ301はミッシングリンク機能を解除し（ステップS506）、物理層デバイス102を強制的な送信可能状態（ForceLink Enable）に設定して（ステップS507）、メディアコンバータ40宛のトリガパケットをメディアコンバータ40へ送信する。トリガパケット送信後、強制的な送信可能状態を解除（ForceLink Disable）し（ステップS508）、リンク情報をテストマネージャ302へ通知してから通常モードに戻り（ステップS509）、トリガパケットに対応する応答パケットの受信を待つ。

【0045】

一方、トリガパケットを受信したメディアコンバータ40はテストモードに移行し（ステップS510）、ミッシングリンク機能を解除して（ステップS511）、応答パケットをメディアコンバータ301へ返送する。その後、通常モードに戻る（ステップS512）。メディアコンバータ40から応答パケットを受信すると、メディアコンバータ301はリンク情報を読み出し、それをテストマネージャ302へ通知する。

【0046】

テストマネージャ302は、メディアコンバータ301および40から受け取ったリンク情報を整理して障害発生箇所の判定を行い（ステップS513）、そのテスト結果をネットワーク管理ツールへ通知する。

【0047】

図6は、本実施形態におけるメディアコンバータ301のテスト動作を示すフローチャートである。

【0048】

テストマネージャ302からテストモードが起動されると（ステップS601のYES）、メディアコンバータ301のマイクロプロセッサ105はミッシングリンク機能を解除し（ステップS602）、物理層デバイス102を強制的な

送信可能状態 (ForceLink Enable) に設定する (ステップ S 603)。そして、隣接するメディアコンバータ 40 宛のトリガパケットを送信した後 (ステップ S 604)、強制的な送信可能状態を解除 (ForceLink Disable) する (ステップ S 605)。続いて、マイクロプロセッサ 105 は各物理層デバイスのリンク情報を取得し (ステップ S 606)、独自バス 303 を通してテストマネージャ 302 へ通知する (ステップ S 607)。

【0049】

その後、マイクロプロセッサ 105 は通常モードに戻り (ステップ S 608)、送信したトリガパケットの応答となるパケットの受信を待つ (ステップ S 609)。応答パケットを受信すると (ステップ S 609 の YES)、マイクロプロセッサ 105 は書き込まれたリンク情報を読み出し、それをテストマネージャ 302 へ通知する (ステップ S 610)。応答パケット以外のパケットを受信した場合には (ステップ S 609 の NO)、そのまま転送する (ステップ S 611)。

【0050】

テストモードが起動されない場合には (ステップ S 601 の NO)、マイクロプロセッサ 105 はトリガパケットを受信したか否かを判断し (ステップ S 612)、トリガパケットの受信がなければ (ステップ S 612 の NO)、ステップ S 608 へ制御を移行する。具体的には、物理層デバイス 101 あるいは 102 からパケットが受信されると、PLD 104 は所定タイミングで FIFO メモリ 103 に書き込まれたデータが所定のトリガデータ (自己の識別番号) であるか否かを判定する。ここでは、図 2 に示すように送信元アドレスフィールドのタイミングで FIFO メモリ 103 の内容をチェックする。送信元アドレスフィールドに自己宛のトリガデータが存在するとトリガパケット受信と判断される。

【0051】

トリガパケットが受信されると (ステップ S 612 の YES)、メディアコンバータ 301 のマイクロプロセッサ 105 はミッシングリンク機能を解除し (ステップ S 613)、各物理層デバイスのリンク情報を取得する (ステップ S 614)。上述したように、マイクロプロセッサ 105 は取得したリンク情報を所定

位置に書き込んだ応答パケットを生成し、トリガパケットの送信元へ送信する（ステップS615）。応答パケットを送信後、ステップS608へ制御を移行する。

【0052】

図7は、本実施形態におけるテストマネージャ302のテスト動作を示すフローチャートである。

【0053】

テストマネージャ302のマイクロプロセッサ304はネットワーク管理ツールからのテスト指示がない限り（ステップS701のNO）、メディアコンバータ301のマイクロプロセッサ105を通してリンク状態を監視し（ステップS702）、リンク切断の有無を判断する（ステップS703）。リンクが正常であれば（ステップS703のNO）、ステップS701およびS702を繰り返す。

【0054】

リンク切断が検出されると（ステップS703のYES）、リンク切断をネットワーク管理ツールへ通知し（ステップS704）、ネットワーク管理ツールからのテスト開始指示を待つ。ネットワーク管理ツールからテスト開始指示を受け取ると（ステップS701のYES）、マイクロプロセッサ304はメディアコンバータ301のテストモードを起動し（ステップS705）、所定時間のタイマがタイムアウトするまでメディアコンバータ（ここでは、MC301およびMC40）からの通知を待つ（ステップS706～S708）。

【0055】

メディアコンバータからの通知があると（ステップS706のYES）、その情報を整理し（ステップS707）、所定時間経過後に取得した情報から判定を行う（ステップS709）。たとえば、メディアコンバータ301からは情報を取得したが、メディアコンバータ40からは所定時間内に情報を取得しなかった場合には、メディアコンバータ40あるいはその間の光ファイバケーブルに障害が発生したものと判断することができる。あるいは、メディアコンバータ301およびメディアコンバータ40の双方から所定時間内に通知があった場合でも、

メディアコンバータ40からのリンク情報によって障害発生の有無を判断することができる（図4参照）。判定結果はネットワーク管理ツールへ通知される（ステップS710）。

【0056】

このように、複数のメディアコンバータからなるネットワークにおいて、トリガパケットを複数のメディアコンバータへ順次送信し、それらの応答パケットに基づいて障害検出を行うことが可能となる。また、マネジメントスイッチ20に特別な機能を設ける必要がなく、テストマネージャ付きメディアコンバータ300を使用するだけで上述した障害検出を行うことができ、システム構成が簡略化される。

【0057】

図8は、メディアコンバータ40のテスト動作を示すフローチャートである。マイクロプロセッサ403はトリガパケットを受信したか否かを判断し（ステップS801）、トリガパケットが受信されると（ステップS801のYES）、マイクロプロセッサ403はミッシングリンク機能を解除し（ステップS802）、各物理層デバイスのリンク情報を取得する（ステップS803）。上述したように、マイクロプロセッサ403は取得したリンク情報を所定位置に書き込んだ応答パケットを生成してトリガパケットの送信元へ送信し（ステップS804）、通常モードへ移行する（ステップS805）。トリガパケットが受信されない場合も（ステップS801のNO）、通常モードへ移行する。

【0058】

図9は本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータの他の実施形態を示すブロック図である。本実施形態のテストマネージャ付きメディアコンバータ300には、ネットワーク管理ルーツに接続するためのポートP₀と、N個のメディアコンバータMC₁～MC_Nのそれぞれに対応するN対のポートP_{i1}およびP_{i2}（i=1, 2, 3, ..., N）とが設けられている。テストマネージャ302はN個のメディアコンバータMC₁～MC_Nをそれぞれ上述したように管理する。

【0059】

図10は、図9に示すテストマネージャ付きメディアコンバータ300を用いた交換局のシステム構成図である。同図に示すように、交換局500の各加入者回線は、光ファイバケーブルによって加入者宅503のメディアコンバータ10に接続されている。交換局500には、テストマネージャ302を含むメディアコンバータ300とスイッチ501とが設けられている。

【0060】

メディアコンバータ $MC_1 \sim MC_N$ のUTPケーブル側ポートは、それぞれUTPケーブル $UTP_1 \sim UTP_N$ によってスイッチ501の入出力ポートに接続されている。また、スイッチ501には、スイッチ制御を行うためのプロセッサ(CPU)502が設けられている。テストマネージャ302はN個のメディアコンバータ $MC_1 \sim MC_N$ をそれぞれ上述したように管理する。

【0061】

テストマネージャ302の機能は、図3に示すように、実質的にプロセッサ(CPU)304によって実現される。従って、テストマネージャ302の機能をスイッチ501内のプロセッサ502によって実現するテストマネージャシステムも可能である。

【0062】

図11は、テストマネージャ機能をスイッチ内のプロセッサによって実現した交換局のシステム構成図である。同図に示すように、交換局500内に設けられた1つのシャーシ600に、上述したメディアコンバータ $MC_1 \sim MC_N$ とスイッチ601とを実装する。

【0063】

スイッチ601のプロセッサ602には、スイッチ601を制御するためのスイッチ制御機能603と上記テストマネージャ302に対応するテストマネージャ機能604とがそれぞれプログラム制御により実現されている。テストマネージャ機能604により、メディアコンバータ $MC_1 \sim MC_N$ はテストマネージャ302と同様に管理される。

【0064】

このように、スイッチ601のプロセッサ602を利用してテストマネージャ

機能を実現することにより、プロセッサを有効に利用することができ、またハードウエア量が少なくなるために小型軽量化を達成できる。

【0065】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明による障害検出システム及び方法によれば、トリガパケットを複数のメディアコンバータへ順次送信し、それらの応答パケットに基づいて障害検出を行うことができる。特に、あるメディアコンバータから応答パケットを所定時間内に受信しない場合には、当該メディアコンバータ以遠に障害が発生していると判定することができる。したがって、メディアコンバータを含むリンクの障害検出が容易となり、かつ障害位置をある程度特定することもできる。

【0066】

また、各メディアコンバータにおいて、自己の識別データを含むトリガパケットを受信することでテストモードが起動され、応答パケットを返送する。したがって、ケーブル側からテストを起動することが可能となり、応答パケットを受信することで当該メディアコンバータまでのリンクだけでなく、当該メディアコンバータ自体も正常に動作していることを確認することができる。

【0067】

さらに、メディアコンバータの各々は、ミッシングリンク状態において自己宛のトリガパケット以外のトリガパケットを受信した場合には、通常モードに移行して当該受信パケットを転送する。これにより当該メディアコンバータを応答テストの対象としないパケットは通過することとなり、それより以遠のリンクテストが可能となる。

【0068】

本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータは、リンク切断が検出されたときにテストモードを起動してトリガパケットを送信し、それに対する応答パケットを受信することで障害検出テストを実行することができる。マネジメントスイッチに特別な機能を設ける必要がないためにシステム構成が簡略化できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明によるメディアコンバータの一実施形態を示すブロック図である。

【図2】

トリガパケットの一例を示すフォーマット図である。

【図3】

本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータの一実施形態を示すブロック図である。

【図4】

本発明による障害検出方法の一実施形態を説明するためのネットワークシステムの概略的構成を示すブロック図である。

【図5】

本実施形態の応答テスト動作を示すシーケンス図である。

【図6】

テストマネージャ付きメディアコンバータにおけるテスト制御を示すフローチャートである。

【図7】

テストマネージャのテスト制御を示すフローチャートである。

【図8】

メディアコンバータにおけるテスト制御を示すフローチャートである。

【図9】

本発明によるテストマネージャ付きメディアコンバータの他の実施形態を示すブロック図である。

【図10】

図9に示すテストマネージャ付きメディアコンバータ300を用いた交換局のシステム構成図である。

【図11】

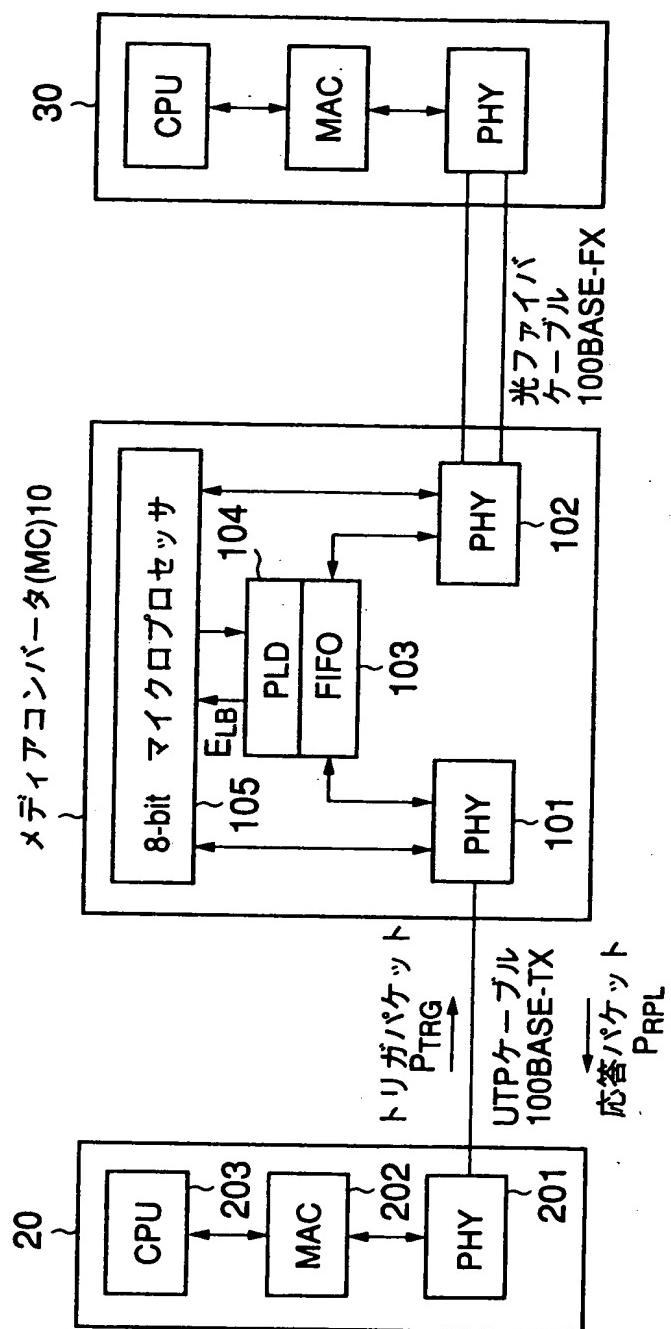
テストマネージャ機能をスイッチ内のプロセッサによって実現した交換局のシステム構成図である。

【符号の説明】

- 10 メディアコンバータ
- 20 マネジメントスイッチ
- 30 マネジメントスイッチ
- 40 メディアコンバータ
- 101 物理層デバイス
- 102 物理層デバイス
- 103 F I F Oメモリ
- 104 P L Dデバイス
- 105 マイクロプロセッサ
- 300 テストマネージャ付きメディアコンバータ
- 301 メディアコンバータ
- 302 テストマネージャ
- 303 独自バス
- 304 マイクロプロセッサ
- 305 ネットワークインターフェーズカード
- 401 物理層デバイス
- 402 物理層デバイス
- 403 マイクロプロセッサ
- 500 局
- 501 スイッチ
- 502 プロセッサ
- 503 加入者宅
- 600 シャーシ
- 601 スイッチ
- 602 プロセッサ
- 603 スイッチ制御機能
- 604 テストマネージャ機能

【書類名】 図面

【図1】

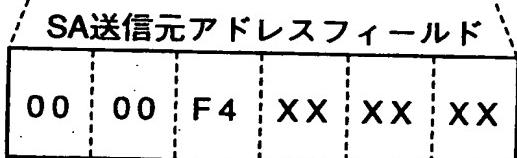


【図2】

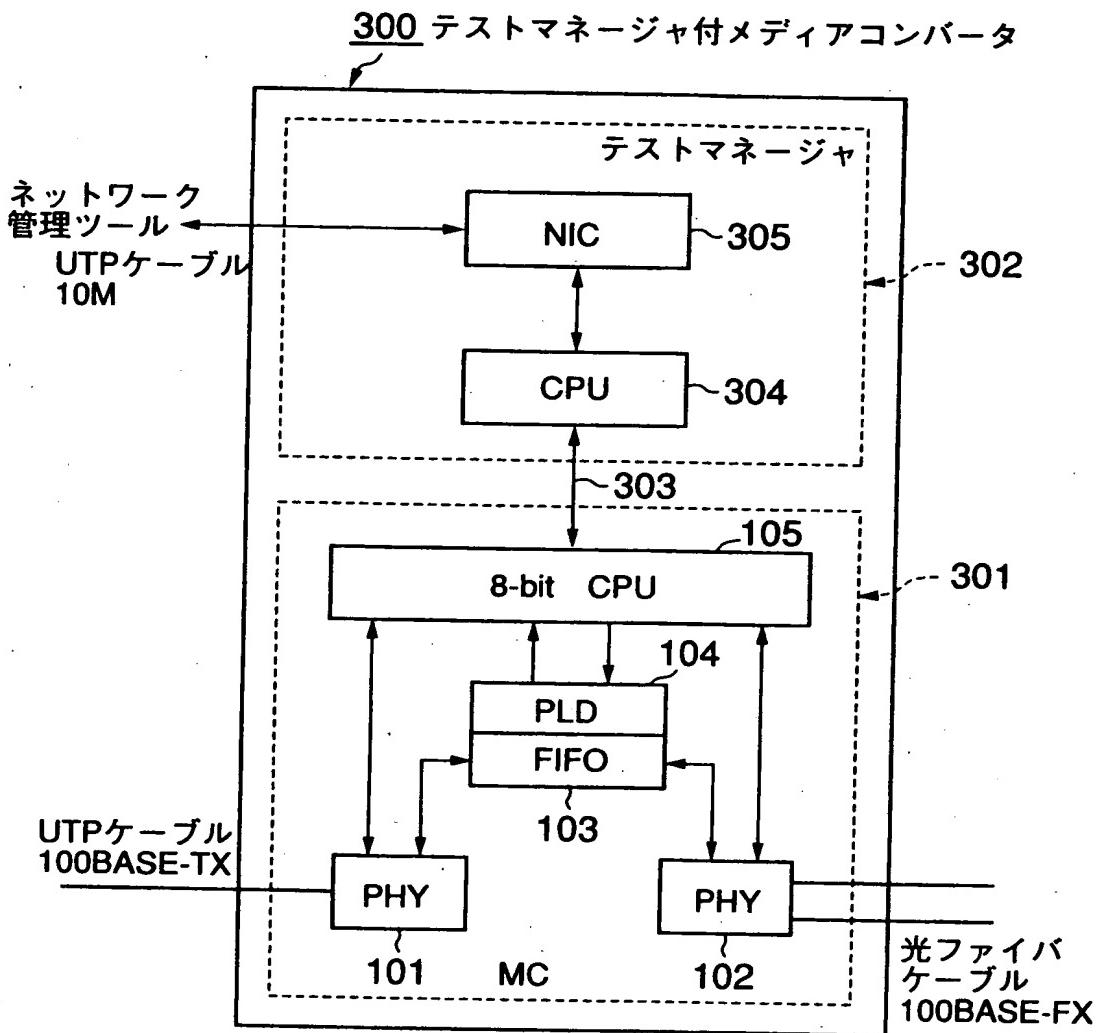
トリガデータを含むイーサネットパケット

プリアンブル PR (8バイト)	あて先 DA (6バイト)	送信元 SA (6バイト)	データ DATA (48-1502バイト)	FCS (4バイト)
------------------------	---------------------	---------------------	-----------------------------	---------------

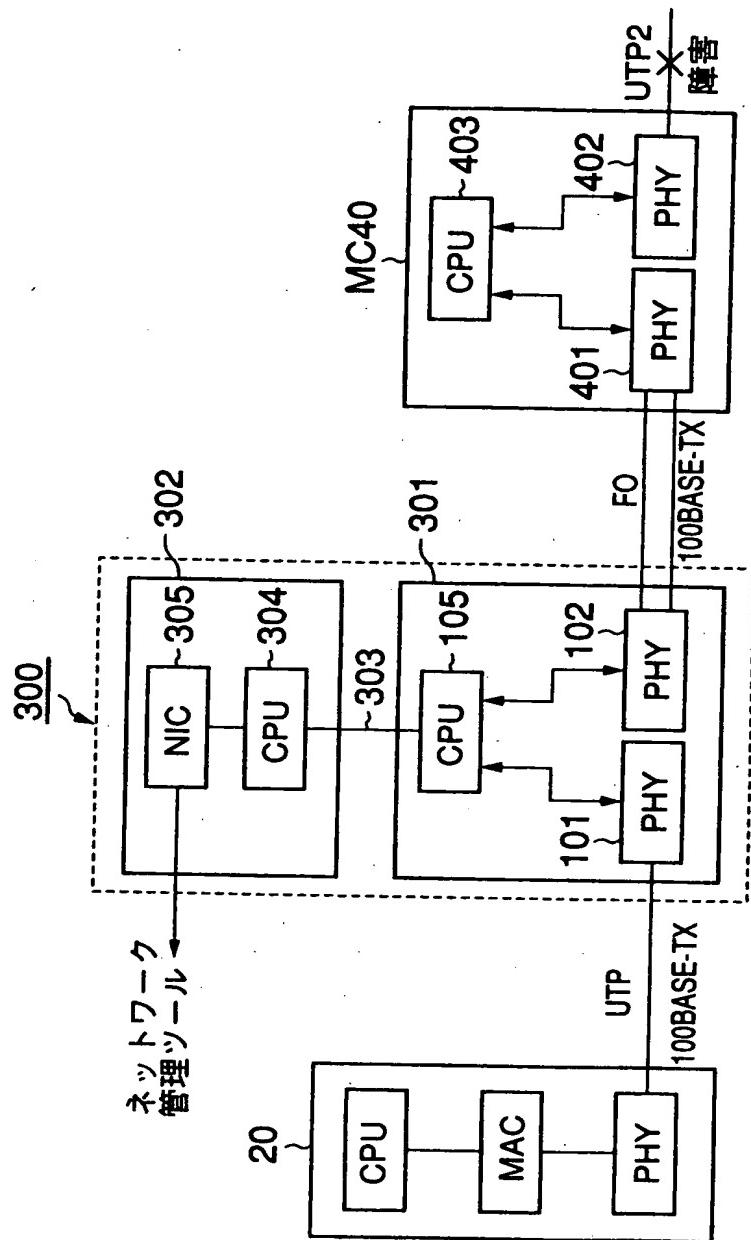
ex[トリガデータ : (0000F4)H]



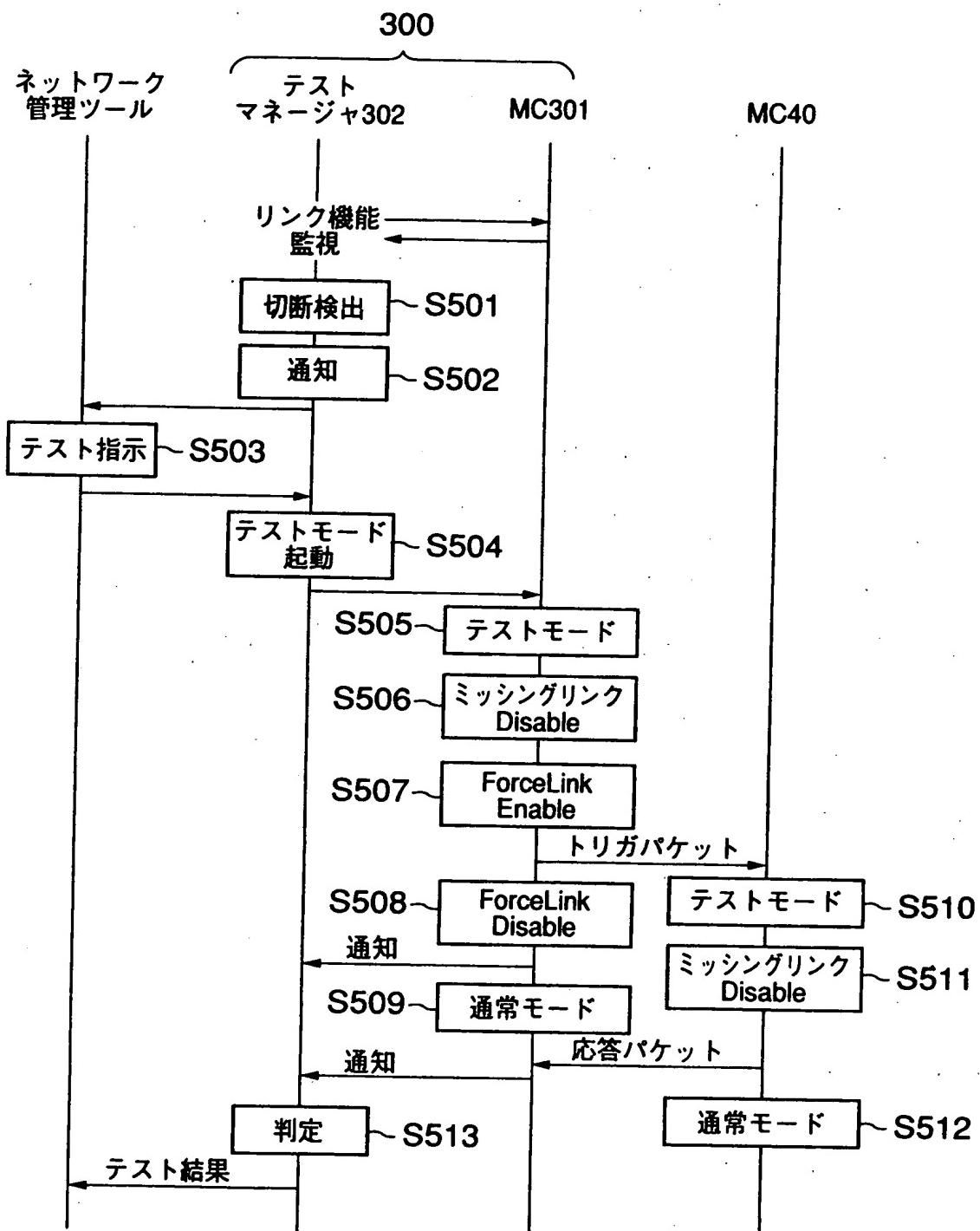
【図3】



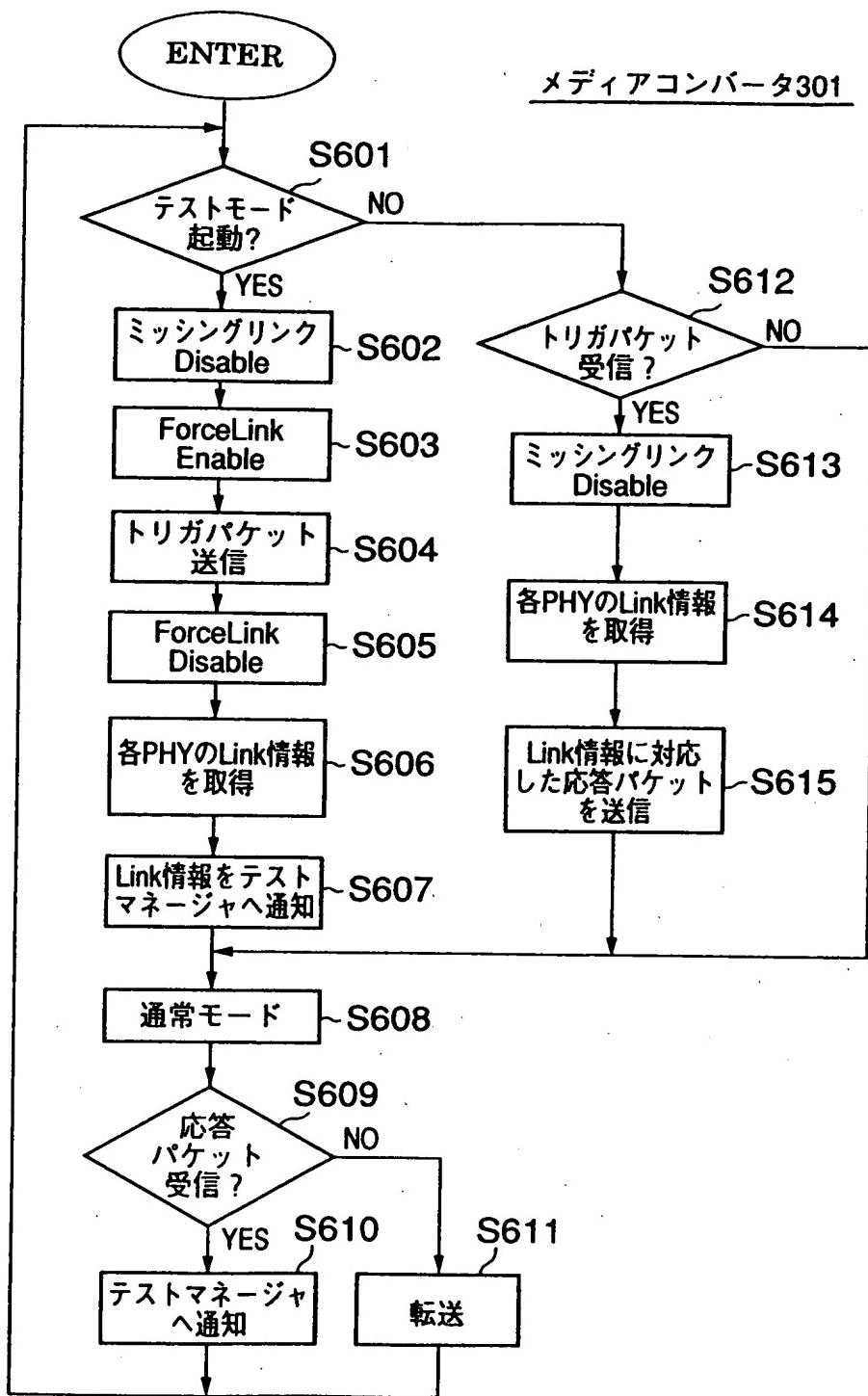
【図4】



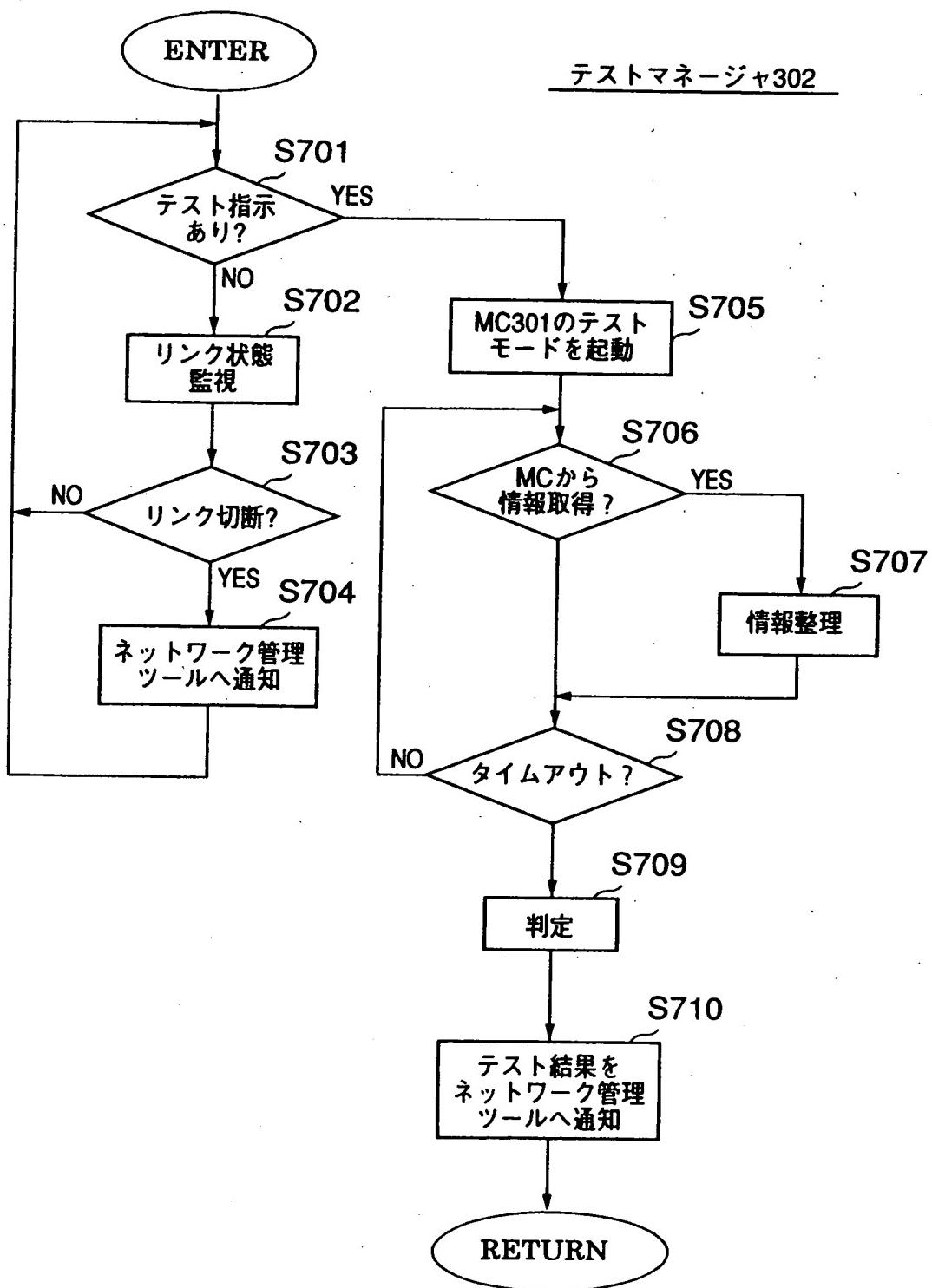
【図5】



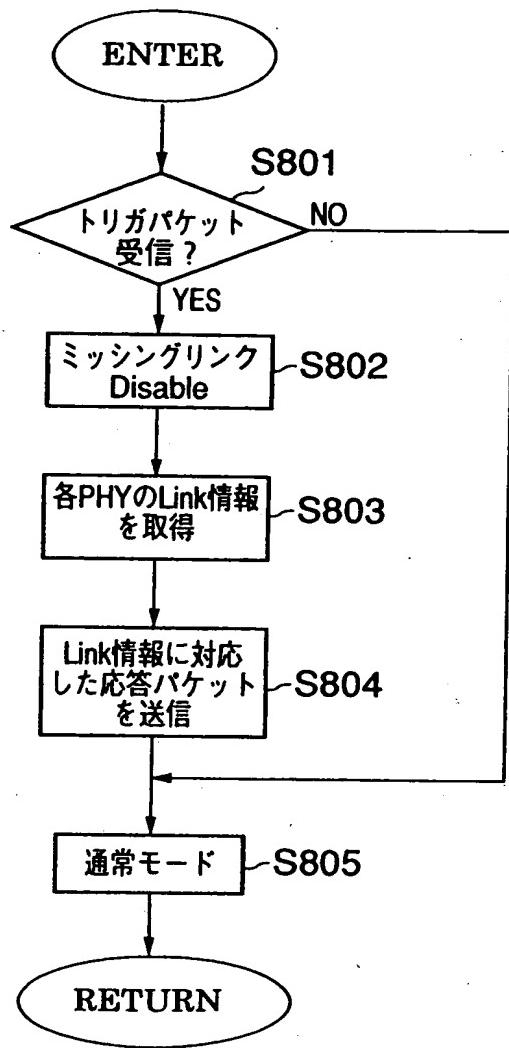
【図6】



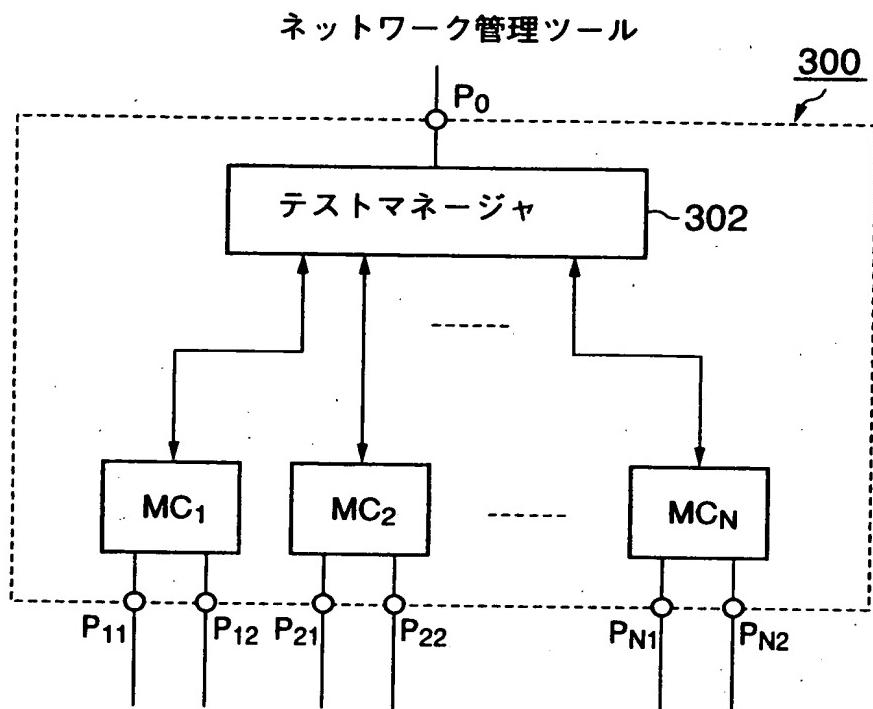
【図7】



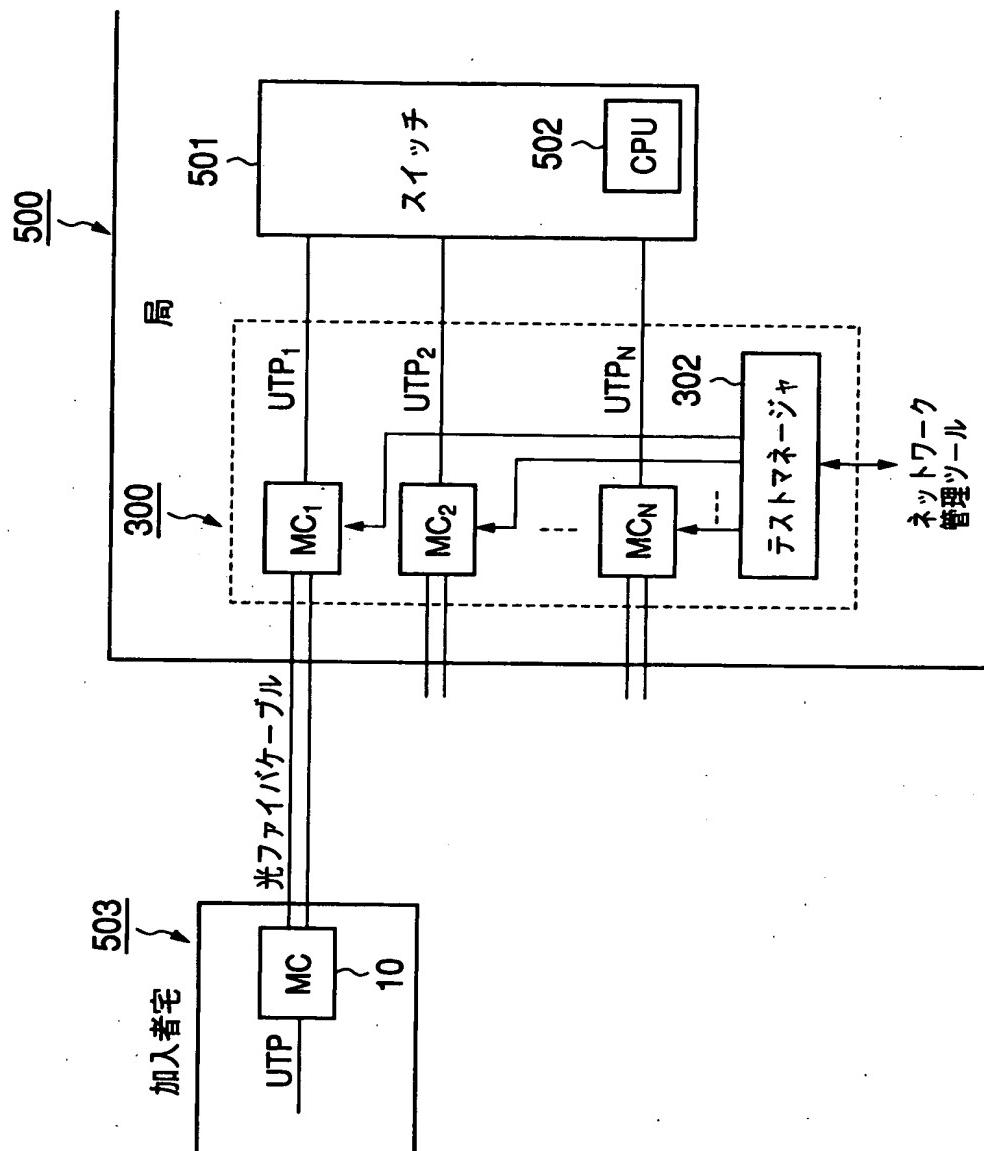
【図8】



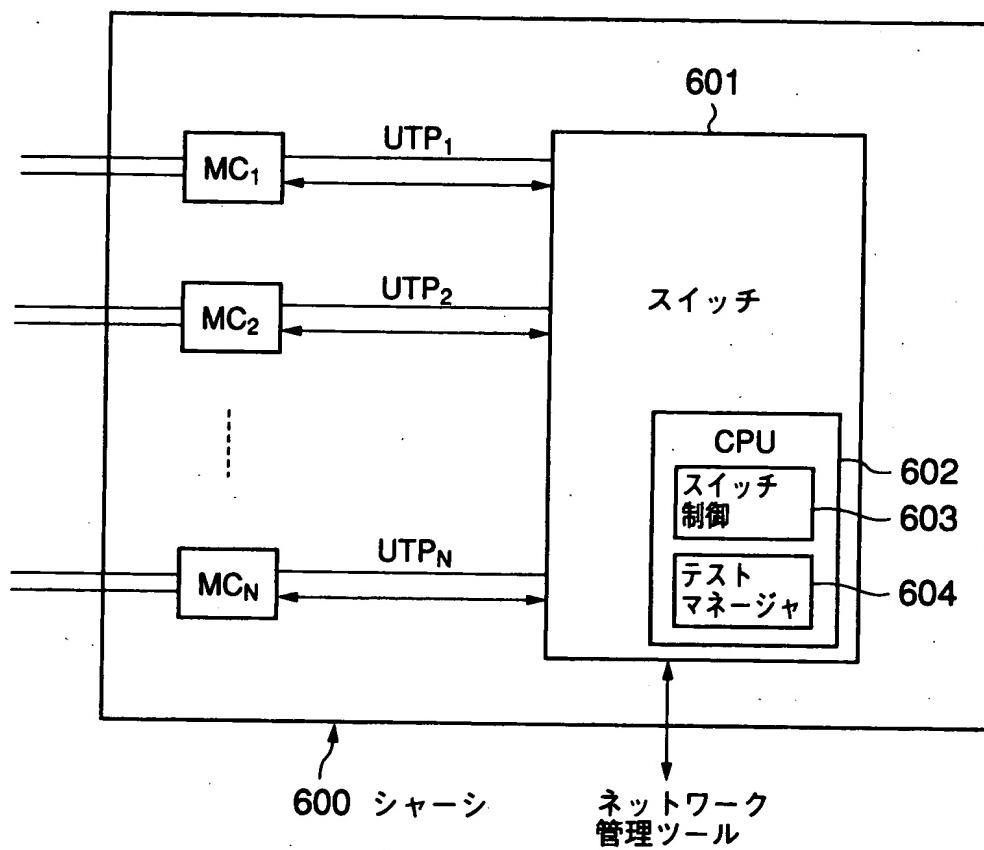
【図9】



【図10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 メディアコンバータを含むリンクの障害検出を容易にし、かつ障害位置を特定できる障害検出システム及び方法を提供する。

【解決手段】 100BASE-TX : UTPケーブルと100BASE-FX : 光ケーブルを接続するメディアコンバータを複数個含むリンクにおいて、テストマネージャがリンク切断を検出すると、テストモードが起動され、テストマネージャ付きメディアコンバータから複数のメディアコンバータへトリガパケットが送信される。各メディアコンバータから応答パケットを所定時間内に受信するか否かを判定し、応答パケットに基づいて障害発生箇所を特定する。

【選択図】 図4

特2001-225960

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-225960
受付番号	50101096122
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 7月27日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成13年 7月26日

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [396008347]

1. 変更年月日 2000年10月24日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都品川区西五反田7-22-17 T.O.Cビル
氏 名 アライドテレシス株式会社